

資料配布

令和3年8月20日 13時

筑波研究学園都市記者会

国土交通記者会

国土交通省建設専門紙記者会

鶴岡記者会



令和3年8月20日

国立研究開発法人土木研究所

山形県鶴岡市

## 山形県鶴岡市との連携による防災分野のデジタル化への貢献について

### 1. 背景

国立研究開発法人 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM：アイチャーム）は、近年、激甚化・頻発化する災害時に関する情報の一元化を図り、地方自治体の防災担当者や住民間の災害リスクコミュニケーション・防災・減災活動を支援する「ICHARM 災害情報共有システム（IDRIS：イドリス）」を開発・改良してきました。

山形県鶴岡市は、2020年度「SDGs 未来都市」に選定され、持続可能なまちづくりに向けた産官学等による「デジタル化による構造改革事業（スマートシティ推進及びデジタルガバメント構築）」を進めています。その中でも、中山間地を中心に激甚化・頻発化する水災害の実情を受け、平時の防災意識の向上および有事の的確な状況把握・避難行動促進を実現するための防災・減災システムの構築は最重要課題の一つとして挙げられおり、鶴岡市は、防災分野のデジタル化に関する適切な研究・技術シーズを探していました。

IDRIS が鶴岡市の研究・技術ニーズに合致したため、鶴岡市の進めるスマートシティ推進及びデジタルガバメント構築の防災・減災部分に参加し、デジタル化による構造改革事業の推進に貢献することとしています。

### 2. 研究連携協力協定の締結

これらの背景のもと、山形県鶴岡市と ICHARM は、令和3年8月6日に「災害情報共有システムに係る技術開発に関する連携・協力協定」を締結し、「IDRIS」の実装を行うこととしました。

### 3. 想定している主な研究内容

様々な主体が公表している多岐にわたる災害に関する情報や現地の状況を1つのホームページで閲覧でき、平常時や緊急時の様々な災害情報を一目で把握できる「ICHARM 災害情報共有システム (IDRIS)」を用いた「災害情報ポータルサイト」の開発・実装の支援を行います。



図 山形県鶴岡市と ICHARM の連携・協力協定概要

問い合わせ先	
国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ 上席研究員 藤兼雅和 主任研究員 傳田正利 電話番号：029-879-6808 E-Mail：fujikane-m574bt@pwri.go.jp	鶴岡市役所 市民部防災安全課 電話番号：0235-25-2111 E-mail： kikikanri@city.tsuruoka.yamagata.jp